

チームを考える

2023年12月13日(水)

—EMERADA—

今日話すこと

- チームの目指す姿
- 今年を振り返って
- 感謝
- どうして行きたいか

チームの目指す姿

- 職人芸ではなく**仕組み**で問題を解決していく
- 問題に対処するのではなく**予防すること**で解決する
- 誰かがやってくれるではなく、**自分たちがやる**
- **今の自分の行動**が未来の誰かを救うことになる

<https://www.notion.so/emera/Platform-Infrastructure-s-Team-Note-1995407f054948338e93e1a543124262>

今年を振り返って

- Platform Infrastructure Team
 - インフラ構築と運用周りを担当
 - 障害調査/対応、運用、構築
 - 3つのサービスを見ている
 - 少人数でスキルや知識が個人に依存
- チームに人が増えた
 - 1月：2人/3月：3人/5月：4人/8月：6人
 - 今まで出来なかったことができるように

今年やったこと

個人メンションを止めた

- 個人に依存した作業は辛い
 - 休めない
 - 個人への負担が重い
- チームへのメンションに変更
 - 他のメンバーが何をしているか気付ける
 - 依頼のロストを防げる
 - チームとして取り組んでいるという意識
- とはいえ個人への依頼もある
 - 個人メンション+チームメンション

ドキュメントリンク

canvas

△ ⋮ ×

インフラチーム

チームノート

Platform Infrastructure's Team Note

依頼について

こちらのチャンネルで @infra 宛にメンションを頂ければ適切な対応者が反応します。個別のメンバーに対する依頼であっても、そのメンバーが休暇やシフト勤務をしている場合があるので @infra をメンションに含めてください。

各種手順

チームに作業依頼をする前に、各種作業向けのドキュメントがありますので、お問い合わせ前にご確認頂けると有り難いです。

全般

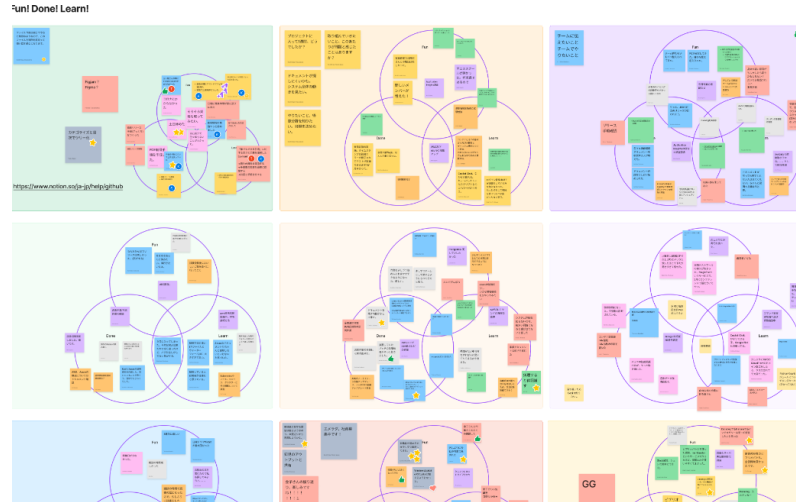
- [インフラFAQ\(Kyell編\)](#)
- [発行されたアカウントへのログイン等の手順](#)
- [VPN接続設定\(エメラダ直契約の人のみ\)](#)
- [Google Driveの権限について](#)
- [インフラ関係メモ](#)

Kyell

- [AWS環境を使いこなすはじめの一步 for Kyell](#)
- [AWS cliの設定方法\(簡略化\)](#)
- [踏み台の起動/停止](#)
- [Kyell インフラ周り確認用コマンド集](#)
- [商用環境アカウント払い出しについて](#)
- [Kyell IAMユーザー利用状況一覧](#)
- [CloudWatch Logs Insights のクエリ](#)

- ドキュメント見れば分かるものはリンクで
- よく使うドキュメントは更新もされやすい

振り返り



- チームで振り返りができるようになった
 - Fun Done Learn
 - 週末の締めにするので楽しく
 - 毎週実施

ビブリオバトル



- **Mentimeter** で資料作成と投票
 - 人に何かを伝えることは楽しい
 - なんでも話して良いという雰囲気
- 次回は優勝者に賞品を出したい

ブログ雑談

- re:Inventで新規発表されたサービスなどを確認
 - re:InventはAWSの年次イベントで毎年大量の発表がある
- [Developers.io](#) で気になる内容を見ながら会話
 - この時期は1日に100記事更新される
- 新しい機能を導入してみよう/調査してみよう
 - 目先のこと以外に目を向ける
 - インフラチームでの勉強会へ繋がりたい
- Azureでも同じようなことをやりたい

感謝

- 大変なこともたくさんあった。
 - 深夜作業、土日出勤、緊急調査 ...
 - メンバーの退職、チーム縮小
- 毎日の問い合わせ、依頼への対応

**チームメンバーには感謝しかない
他チームの皆さんにも沢山支えてもらった**

Thank you all very much.

どうして行きたいか

If you want to go fast, go alone.
If you want to go far, go together.

現在地は

- やっとスタートラインに着いたところ
 - すぐに素晴らしい結果は出ない
 - それでも一歩踏み出してみる事が大事
- 自分だけでできることなんて無い
 - 信頼関係をどうやって築いていくか
 - みんなでやればできる
- 最後は楽しく

一句

君とならきっに行けるよどこまでも

**ご清聴ありがとう
ございました**

